

オンラインで参加できる！

超スマート社会における災害対応を考える 産官学連携シンポジウム

～阪神・淡路大震災から24年、我々ができることを考える～

国立研究開発法人防災科学技術研究所は、災害情報を必要な形で提供することで自治体の災害対応を効率化し、地域のレジリエンス力向上に貢献できる防災情報サービスプラットフォームを構築しています。そのプラットフォームの利活用を全国に展開するために、神戸市において自治体と研究機関、企業や Civic Tech による産官学連携シンポジウムを開催します。神戸市では、阪神・淡路大震災から 24 年が経過し、自治体実務者や市民の体験、経験の継承が必要不可欠です。また、時代の潮流に即した Civic Tech 等の参画を促進するプラットフォーム構築が期待されています。

本シンポジウムでは、様々な主体から災害関連情報に係わる取り組みを報告いただくとともに、様々な立場において我々ができることを会場参加者、オンライン参加者とともに議論し、共通の意識を持つコミュニティ形成につなげていきたいと考えております。

●下記のアドレスから事前登録いただくことで
誰でも本シンポジウムを視聴することが可能です。

→視聴登録 URL: <https://bosai.livestreamcloud.jp/>

※会場の都合により、一般の方の来場はお断り致します。



開催概要

日時：2019年1月29日（火）13:00～17:00

場所：神戸市危機管理センター

所在地：〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1

主催：国立研究開発法人防災科学技術研究所

後援：神戸市

●神戸市 GIS アカデミーは兵庫県立大学大学院減災復興政策科との協定に基づきデータ共有し、GIS 活用を推進しています。

※出席予定者 神戸市職員、他自治体職員、地域 IT 企業、大学生、他



問い合わせ窓口

本シンポジウム運営事務委託先：新建新聞社 リスク対策 .com

担当 中澤 (k-nakazawa@shinkenpress.co.jp)

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 13:00～13:10 | 事務局からのご案内
質問アプリ「Sli.do」の説明など |
| 13:10～13:15 | 開会あいさつ
神戸市副市長 寺崎 秀俊氏 |
| 13:15～13:30 | 本シンポジウムの趣旨説明
国立研究開発法人防災科学技術研究所 鈴木 進吾氏 |
| 13:30～13:50 | 民間企業の取り組み事例①
グーグル合同会社 執行役員 公共政策・政府渉外担当 杉原 佳亮氏 |
| 13:50～14:30 | 民間企業の取り組み事例②
LINE 株式会社 公共政策室副室長 福島 直央氏
NPO 法人コミュニティリンク 理事 榊原 貴倫氏 |
| 14:30～14:50 | 住基空間情報を活用した地域レジリエンス向上への挑戦（仮）
会津若松市 企画政策部 企画調整課 庁舎整備室 伊藤 文徳氏
（会津若松市統合 GIS 活用検討チーム座長・総務省地域情報化アドバイザー） |
| ～ 休憩 ～ | |
| 15:00～15:20 | 神戸市の災害情報の活用について（仮）
神戸市 企画調整局 政策企画部 ICT 連携担当部長 松崎 太亮氏
（災害当時広報担当職員・総務省地域情報化アドバイザー） |
| 15:20～15:40 | 市民からの情報提供による災害アーカイブの構築
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授 浦川 豪氏 |
| 15:40～16:00 | オープンデータと防災コミュニティ
一般社団法人「コード・フォー・ジャパン」代表理事 関 治之氏 |
| ～ 休憩 ～ | |
| 16:10～16:50 | オンライン参加型パネルディスカッション
コーディネーター 鈴木 進吾氏（国立研究開発法人防災科学技術研究所） |
| 16:50～ | 閉会の挨拶
国立研究開発法人防災科学技術研究所 鈴木 進吾氏 |

イベント参加アプリ「Sli.do」の使い方

当日は、イベント参加アプリ「Sli.do」を使って、皆様からの質問や意見をお受けする予定です。
あらかじめ、スマートフォンやタブレットに「Sli.do」のアプリ（無料）をインストールしておいて下さい。



※使用方法とイベント・コードは当日ご案内します。